Apr 2025 205-6164.Y HF Jul 2026

KIJIMA ORIGINALPARTS TECHNICAL SERVICE MANUAL

KAWASAKI 2025y～ W230 / MEGURO S1 用
LED フォグランプ KIT
＜商品番号：２０５－６１６４（白）／６１６４Y（黄）＞
【取扱説明書】

注意

取付け前に必ずお読みください。

作業時間：0.6ｈ

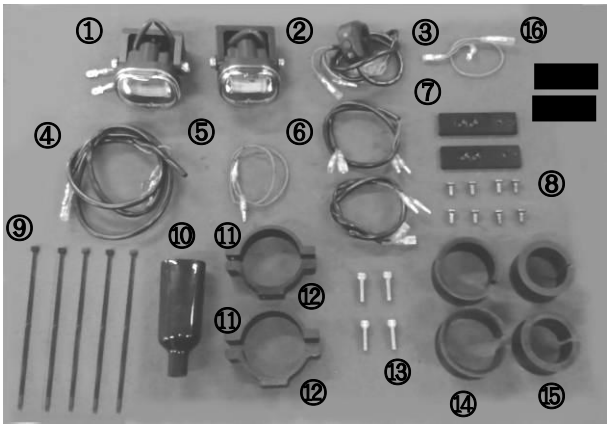
このたびは,当社製商品をお買い上げいただきありがとうございます。
本製品は以下のことをご理解のもと作業していただきますようお願い申し上げます。
作業にあたられる方は本体車両メーカーのサービスマニュアルに準ずる知識及び技術を持った方に限ります。

- 取付け前に商品構成の内容を必ずご確認ください。
- 道路交通法・道路運送車両法を厳守する。
- 運行前点検及び、定期的な保守整備を行う。
- 本取付け説明書に則った取付けを行う。
- 本製品への加工を加えない。
- 不具合が発生した場合速やかに使用を中止する。

以上の事柄を必ずお守りください。

万が一、商品に不備があった場合は、取付けを行わないでください。
上記が守られていない場合、商品への保証は一切いたしません。
また、株式会社キジマは本製品にのみ責任を持つものであり、本製品の品質以外（修理費、取付工賃等）どのような事柄に対しても責任を負いかねますのでご了承ください。

《部品構成内容》



① 6164(ホワイト発光)・6164Y（イエロー発光）

部番	品名	個数
①	LED フォグランプ	2
②	フォグランプスイッチ（ゴム付属）	1
③	ACC 分岐ハーネス	1
④	延長ハーネス 1000mm	1
⑤	オス変換ハーネス 400mm	1
⑥	フォグランプハーネス	2
⑦	フォグ固定ステー	2
⑧	十字皿ボルト　M5×15L	8
⑨	結束バンド　180×4.5W	5
⑩	配線カバー　M	1
⑪	フォグランプクランプ A	2
⑫	フォグランプクランプ B	2
⑬	キャップボルト　M6×20	4
⑭	ラバースペーサー　A	2
⑮	ラバースペーサー　B	2
⑯	ラバースペーサー　C　23×120×ｔ1.0	2

製品取付けに当たっての注意点

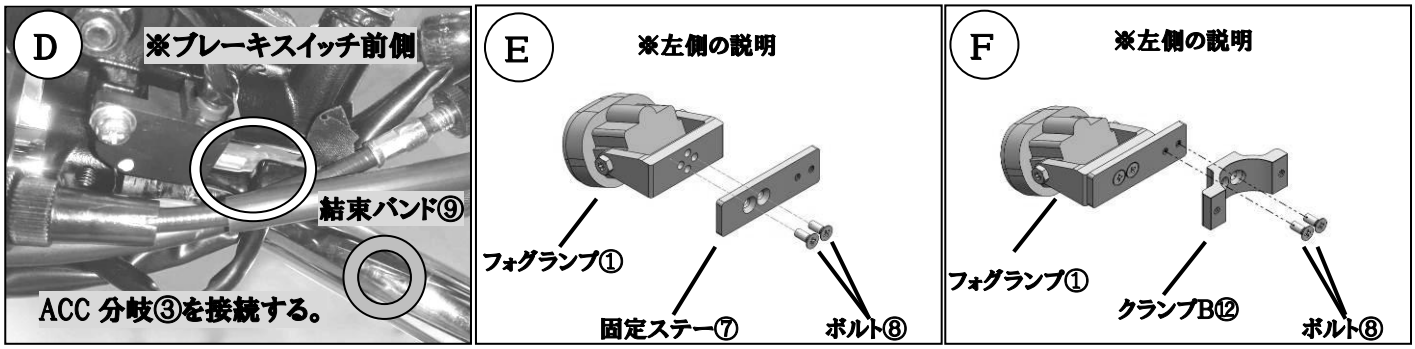
※ 本製品は、KAWASAKI 2025y- W230 / MEGURO S1 (8BK-BJ230A) に適合します。
※ 本製品は、消費電力［18W（白）/ 14.6W（黄)］が高い為、長時間のご使用や電装品の併用状況によりバッテリーが消耗しやすくなります。バッテリー電圧管理を通常使用時より、こまめにメンテナンスして下さい。尚、グリップヒーター及びＵＳＢチャージャー等を併用される際は、温まらない等の不具合が起きる場合がある為、ACC パワーユニット(304-0539)の使用、又は容量の大きいバッテリーに変更等の対策を行って下さい。
※ 本製品は、弊社エンブレムステー（208-3107）と併用可能です。
※ 本製品は、クランプ（φ25～39）を使用している為、対応径のエンジンガード等にも装着可能です。
※ 本製品のフォグランプ内部が曇る場合がありますが、不具合ではありません。走行風を当てると解消します。
※ 純正部品の取外し／取付け、ボルト／ナットの締め付けについては、メーカー発行の取扱説明書に基づいて、確実に行ってください。必ずメインキーをＯＦＦの状態で作業を行う事。また作業中に車体が倒れたりして危険ですので、水平な場所で車体を安定させて行う事。
※ 安全快適なライディングの為に、定期的に増し締めなどの点検整備を必ず実施して下さい。

＜取付け方法＞

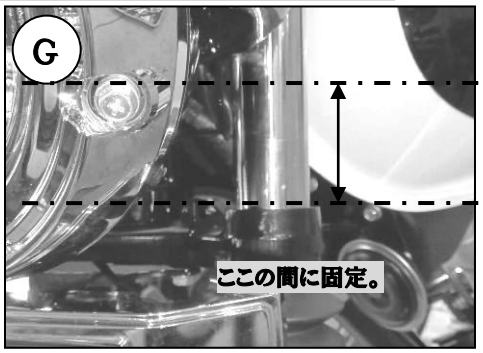
※本文中や図中に出てくる丸囲み数字は前ページの部品構成内容表の部番に対応しています。
※作業するにあたり、バッテリー直で製品を接続し正常に作動する事を確認してから作業を行って下さい。

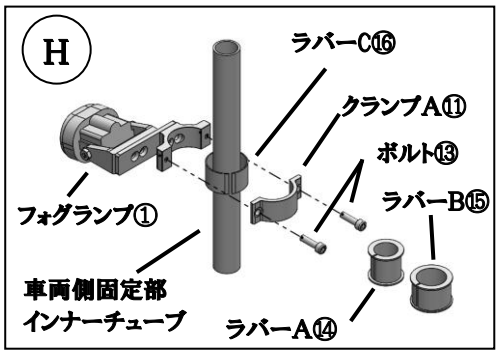
1、シート/右側サイドカバーを取外し、延長ハーネス④をバッテリーのプラス→マイナスの順に取付けます。
一時的にバッテリーのマイナスを外し、ショートしない様に絶縁します。手順 10 で再度、取付けます。
※延長ハーネス⑥のビニールチューブを固定しやすいようにカットして下さい。 （写真Ａ参照）

2、延長ハーネス④をフレームに添わせて、結束バンド⑨で固定します。 （写真Ｂ参照）
※ガソリンタンクを外した方が、作業しやすいのですが、外さなくても作業可能です。
3、ハンドルバーにスイッチ②の付属ゴムを巻き、スイッチ②を付属ボルトで仮固定し、位置や向きを調整して固定します。※テーパー部には、装着しないで下さい。 （写真Ｃ参照）



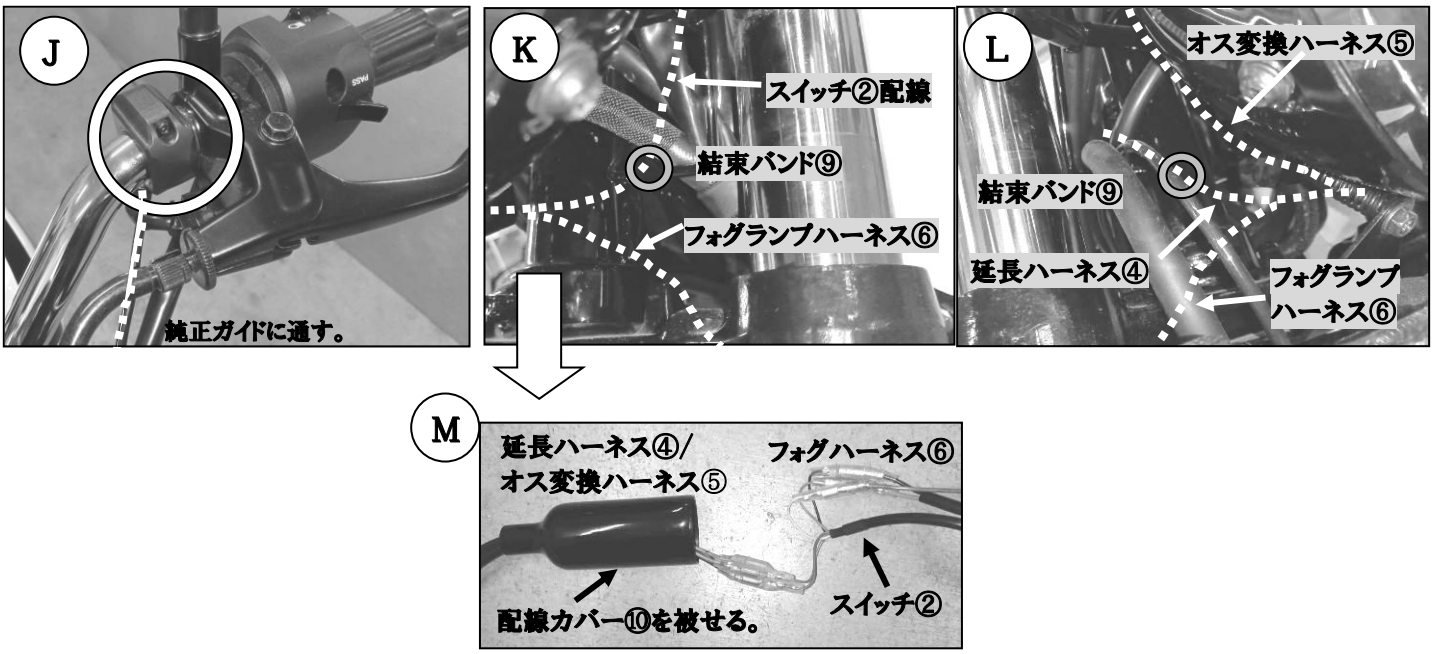
4、フロントブレーキマスター部の車体前側の端子を抜き、ＡＣＣ分岐ハーネス③を接続し、外した端子部も、接続する。 （写真Ｄ参照）
5、フォグランプ①を固定ステー⑦/ボルト⑧で固定します。 （図Ｅ参照）
※右側は、固定ステー⑦を 180 度回転させて使用します。
※ボルト⑧のネジ部にネジロック剤を塗布する。
6、フォグランプ①をクランプＢ⑫/ボルト⑧で固定します。 （図Ｆ参照）
※ボルト⑧のネジ部にネジロック剤を塗布する。





☆ラバースペーサーA⑭/B⑮は、使用しない為大切に保管してください。☆

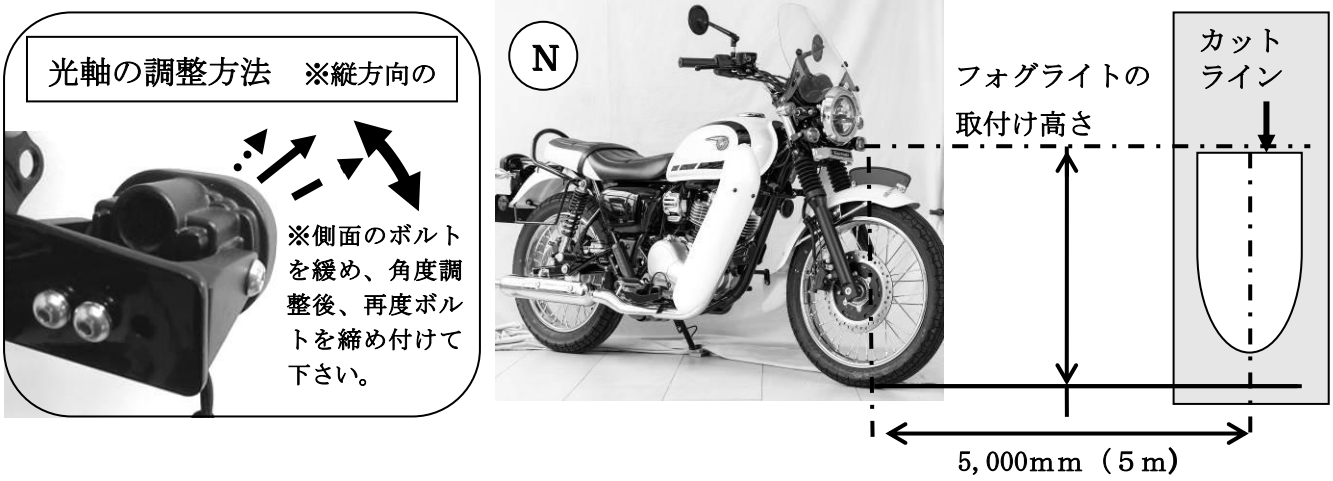
7、トップブリッジとアンダーブラケットの間のインナーチューブ部に固定します。 （写真Ｇ参照）
※必ず、フォグランプ①は、ヘッドライトの中心から下側に固定して下さい。
8、ゴムスペーサーC⑯をインナーチューブに巻き付けます。（図Ｈ参照）
9、手順 6 で組んだフォグランプ①/ラバースペーサーC⑯/クランプＡ⑪をボルト⑬で均等に締めこんで固定します。



10、各ハーネスを結線（配線図参照）し、写真Ｊ/Ｋ/Ｌ/Ｍ/Ｎを参考に配線の取り回しをします。

11、スイッチ②の結線部に配線カバー⑩を被せて結束バンド⑨でフレームに固定する。

12、メインキーをＯＮにして、点灯確認を行って下さい。ハンドルを切った際に配線が引張り/断線/噛み込み等がない事を確認して、結束バンド⑨で各部を固定し余分な部分をカットします。



13、カバー類を組戻します。

14、ヘッドライトの光軸調整をします。※ズレている場合。

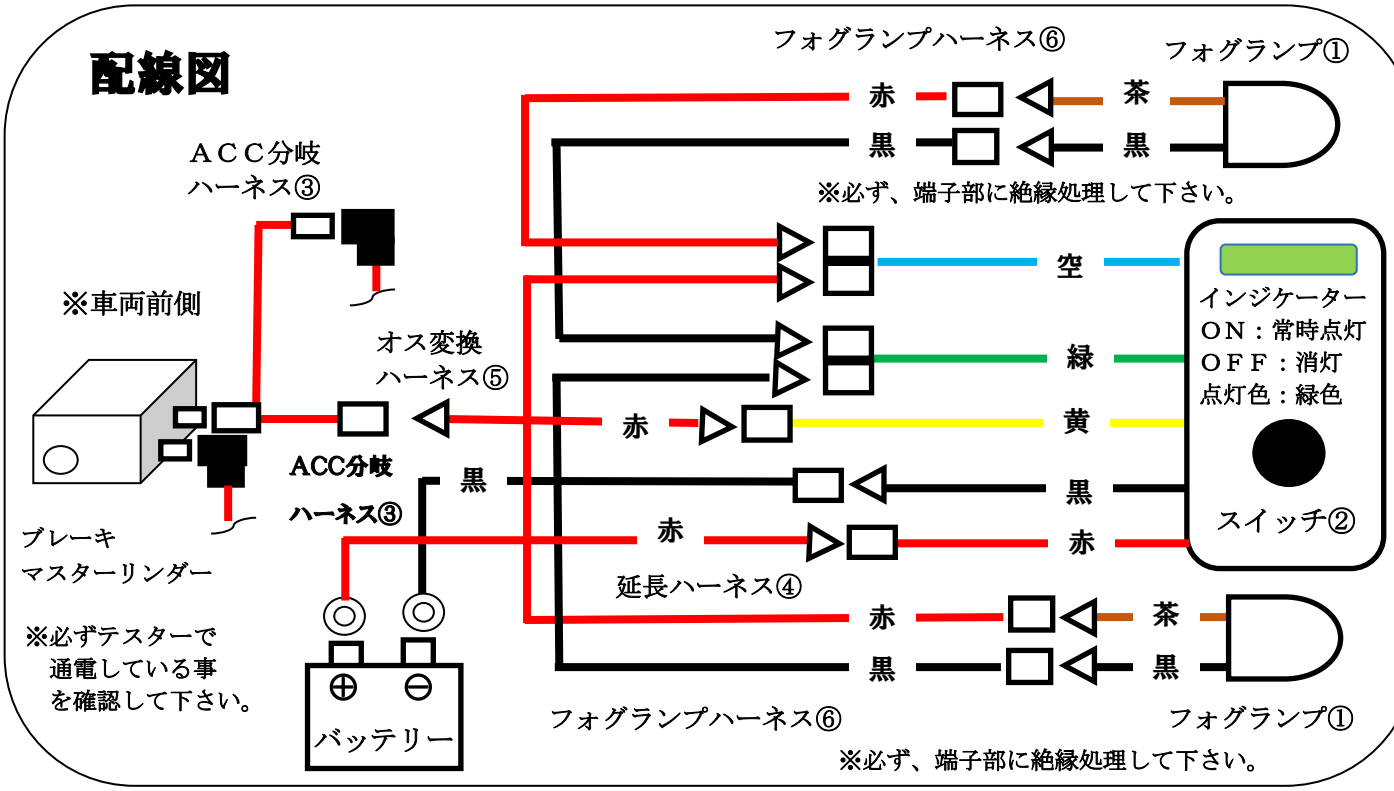
15、壁から 5m離れた平らな面に駐車して。フォグライトを点灯させます。
※ヘッドライトが壁に光らないようにマスキングしておくと調整しやすくなります。

16、フォグライトの取付け高さを測定します。※必ず、ヘッドライトより下側にくるように調節して下さい。

17、壁に映るカットラインの距離がフォグランプの取付け高さと同じになるようにフォグランプの光軸を調整して完了です。（写真N参照）

※定期的なボルト/ナット類の締め付け確認を行って下さい。

配線図



＜取付け後は下記の点についてご確認下さい＞

※配線は、ハンドルを切った際に配線が絡まない/噛み込まない様に取り回しを行って下さい。
　配線が噛み込むと断線する為、注意して配線を取り回して下さい。

※配線は、配線チューブやセルフラップスリーブを使いまとめるときれいに結線できます。

※配線が走行中に配線が引っ掛かりや引っ張られる事がないように結束バンド等で固定して下さい。

※点灯確認する際は、純正以外の電装品がある場合は、なるべく接続を外して確認して下さい。
　点灯しない場合は、結線やバッテリーの状態や純正以外の電装品を外してのチェックを行って下さい。

※結線のチェック等でメインキーオンの状態で接続を外さず、メインキーオフの状態で作業を行って下さい。

※エンジンガード等にクランプする際は、配線の長さ等が足りなくなる場合がございます。その場合、
　別途延長配線等を作成し、ご使用下さい。
　また、ハンドルを左右に切り干渉しないことを確認の上、ご使用下さい。

【ラバースペーサーの組み合わせと対応径】

・Φ25～Φ27：ラバースペーサーA⑭＋B⑮

・Φ28～Φ35：ラバースペーサーA⑭

・Φ36～Φ39：クランプのみ

モーターレク総合開発メーカー　株式会社 キジマ
MOTORCYCLE PARTS&ACCESSORIES KIJIMA co.,ltd.　www.tk-kijima.co.jp
〒123-0841　東京都足立区西新井 4-16-3　TEL. 03-3897-2167　FAX. 03-3897-2138